

TRICOLOR

国際チビツ子サッカー大会 組合せ

SL-23(小2/かながわクラブプラン)

藤の木・サザン・ソレイユ B・戸塚 FC
・白根 SC

SL-8(小2/かながわクラブブルー)

本牧少年・日限山・和泉・FC HIP・
柏尾 SC・FC ねぎし

LL-8-17(小4/かながわクラブプラン)

ゆりの木・EMSC・黒滝 SC・並木 B・六浦
毎日・鶴ヶ峰

LL-8-9(小4/かながわクラブブルー)

エストレーラ・FC 南台・すみれ A・HIP・
もえぎ野・小山台

L-2(小6・5)

平戸 FC・いずみ野・横浜中央 YMCA・
FC 南台・東汲沢 SC・コミュニティ FC

大会・公式戦結果

Top

【県リーグ(KSL-1)】

第6節

vs 藤沢市役所 4-4

第7節

vs 横浜猛蹴 2-4

【全国クラブチーム選手権県大会】

2回戦

vs フットワーククラブ 0-1

Youth

【関東クラブユースリーグ】

vs 飯能ブルーダー 2-6

vs Y.S.C.C 1-0

vs 杉並アヤックス 2-4

【県 U-17 リーグ】

vs 横浜緑ヶ丘高校 0-5

vs 聖光学院 0-3

vs 港北高校 0-6

vs 関東学院六浦 0-5

vs 城郷高校 2-5

【県クラブユースリーグ】

vs フットワーククラブ 0-3

vs ヴェルディ相模原 0-1

Junior Youth

【県 U-15 リーグ】

vs LJ Atsugi 0-5

vs 綾瀬 FC 3-2

vs esporte 藤沢 0-10

【高円宮杯全日本ユース(U-15)県大会】

vs 岩崎中 0-3

vs 大和中 0-1

小4

【ゼブラ招待】

vs たちばなキッカーズ 0-2

vs 山王谷 1-1

vs ゼブラ 0-1

vs 篠原つばめ SC 1-1

Papas O-40

【市シニア交歓試合】

vs 横浜シニア 2-2

vs 三春台シニア 1-0

今、グラウンドでは・・・

Top

【県リーグ】

約 2 ヶ月のインターバルを経て、9/23(日)から4週連続で残り4試合を戦うことが決まりました。現在は、そのための準備として練習や練習試合を行い、その中でも特に、選手間のコミュニケーションを図ることを大事にしています。1部残留へ向け、負けられない戦いが続きます。Top チームは、トーナメント戦のように負けたら終わりという試合の方が良い結果が出るので、追い込まれたこれからは、力の発揮どころだと思っています。皆さんの応援よろしくお祈いします!!

【日朝親善試合】

8月25日(土)に三ツ沢陸上競技場で行われた「日朝親善試合」。今年は、館・二木・真弓の3選手が「横浜社会人選抜」のメンバーとして参加しました。結果は、昨年の雪辱を果たし 1-0 で勝利です。中でも、館選手は90分間フル出場し、攻守にわたりチームの勝利に貢献する活躍ぶりでした。(二木 昭)

Youth

【今年の夏は試合漬け】

KCY(関東クラブユース)リーグ、県ユースリーグ、県U-17リーグと、今年の夏は公式戦が大変多く入りました。

3年生が出場したKCYSと県ユースリーグ。積極的に攻撃を仕掛ける分守備が甘くなったところをつかれ、毎回のように失点してしまう癖が抜け切らず成績は芳しくありませんでした。流れを読みながら、試合を組み立てていくことまで伝え切れなかったことが悔やまれます。

一方では1・2年生で初めて試合を行ったU-17リーグ。1年生がたくさん出場している状況であり、チーム作りの期間として捉えていますので、結果はあまり気にしないように考えてはいました。が、ちょっと点を与えすぎです。今は厳しい時期ですが、一人ひとりが毎回あと少しずつ頑張る癖をつけると変わってきます。弱い自分に負けない心の強さが求められています。

3年生の多くが受験に備えるために休部しますが、こういう時こそチャンスが回ってきます。明日からではなく、今から頑張ってください！(内田 佳彦)

Junior Youth

ハードな夏だったと思います。

酷暑の中での、連日連戦、高校生との対戦、甲府遠征等・・・。

そして、夏の目標としていた「高円宮杯」が始まりました。

3年生が2人というチームなので、「勝負」ということを考えると厳しい状況ではありますが、選手たちは「試合に勝ちたい」一心で戦っています。サッカー選手である以上、当たり前なことではありますが。

ただ、この気持ちが、選手1人1人の中で「当たり前」の感覚になってきたことで、ゲームへの入り方が良くなり、勝負ができるようになってきました。すでに行われた2戦とも0-0で前半を終え、後半に向け、十分勝利の可能性を残す戦いができています。あとは、この気持ちが最後まで続くかどうかです。2試合とも、あと1歩、足を運べていたら、

ボールに寄せられていたら、というところで失点しています。

なかなか良い結果は出ませんが、試合に勝つことの難しさはよくわかってきたと思います。それだけに勝ったときの喜びは大きいはず。みんなで勝利の美酒(?)を味わえるよう、まだまだ頑張らしましょう!!(二木 昭)

小 6

【国際チビッ子が始まります】

春季大会で勝点7を取ったのですが、国際チビッ子は残念ながら2部の参戦となりました。といっても、どのチームもどの選手も春から実力が伸びていますし、決して簡単な試合はないと思います。6年生のみんなは小学生として横浜市最後の大会です。今まで磨いてきた技術を存分に発揮して欲しいと思います。つまらないことをしてでも勝とうとは思いますが、みんなの実力が発揮できれば必ず勝ると信じています。今までやってきたことに自信をもって大会を迎えてください。みんなで1試合でも多く試合をしましょう。

【裏をとる】

今まで相手をおかす、相手の逆をつくといったことやってきました。これは特にボールを持っている選手に於いて言えることを指導してきました。夏以降はボールを持っていない選手がどう動くかをすばいにか？これを意識しながらサッカーをして欲しいと思います。自分がボールをもらう時はどうでしょう？考えてみてください。今までボールによってもらうケースが止まってもうケースが殆どだと思えます。これからボールから遠ざかる動き、相手DFラインの裏(ゴール側)でもらう動きを工夫して実践して下さい。こうした動きがあるとボールによってくる動きも又生かれます。言葉で説明するには難しい部分があるので実際今後の練習で取り入れて行こうと思います。

【オーバーラップ】

よく聞く言葉だと思いますが、これも重要な戦術です。特にマークが厳しくなる高学年ではボールを持っている味方を後ろから追い抜いて空いているスペースに走りこむこと

で多くのチャンスが作れます。相手の状況、味方のボールの持ち方(いい状態で持っているか？厳しい状態で持っているか)等を判断して、積極的にオーバーラップを仕掛けて欲しいです。特にサイドプレイヤーは1試合に3回は実践して欲しいものです。

【マークの意識】

マークの原則をしっかり意識することが重要です。相手のセットプレー(フリーキック、コーナーキック、ゴールキック、スローイン等)の時は、特にすばいポジションでいつでもアタックできるよう集中して下さい。少し押し込まれると集中が切れ、マークを外してしまうことが多く見られました。試合中は全員で声を掛け合い、誰が誰をマークするのかわかを確認しあうことが大切です。声を出すことなんていつでも出来ると思ったら大間違いです。試合中に自分で意識し、声を出して味方に教えてあげることが、日頃から練習しないと出来ません。それは大人になってもそうです。恥ずかしいことはありません。その一声がチャンスを作ったり、ピンチを防いだりするので。是非、試してみてください。

(益子 伸孝)

小 5

この夏は、テレビでアジアカップ・オリンピック予選・バルセロナのアジアツアーが放映されており子供たちの間でサッカーの話題がよく聞こえてきました。

僕自身も子供の会話に入れるように、テレビやスポーツニュース見たり、最終的にはJリーグを見にスタジアムまで足を運びました。

話はかわりまして、今年の夏は温暖化の影響により気温が高く選手たちには、精神的にも肉体的にも厳しかったと思います。夏場の練習や練習試合で足が止まってしまう、集中が切れてしまう選手が多く、終わってから疲れてヘトヘトになっていた選手が多く見られましたが、しかし、つらいのはこのチームもいっしょです。つらくない選手なんてプロでもいません。この夏の練習で選手たちは、技術的な面以外に精神的にも強くなったと思います。この経験生かし、秋や冬の試合で夏に頑張った成果を出せるよう選手と一緒に頑張っていきたいと思います。

(丸山 祐人)

小 4

【チーム分けについて】

いよいよ秋の公式戦(国際ピッチ)が始まります。春の公式戦には均等に分けた2チームで参加しましたが、秋に関しましては、心・技・体ならぬ「技・心・頭・体」の4つの要素を総合的に考慮して、上位のレベルにある選手と標準レベルの選手とに分けてチームを編成しました。勿論、平日(水・金)の練習を見ていただいている内田コーチをはじめ他のコーチの方々のご意見も参考にしながら、最終的には私ができる限り公平かつ客観的な観点でチーム分けをしたつもりです。ご理解、ご協力をお願いします。

特に今回は「可能性に期待して…」という視点を敢えて排除しました。というのも、常日頃から子どもたち全員が可能性を秘めていることを信じていますし、言うまでもないことです。ですから、この公式戦を経験することにより、どの選手にも大きく成長して欲しいと思っています。

一つ一つの要素について具体的に説明したいと思います。まず「技」というのは「ボールを蹴る、止める、運ぶ技術」ということになると思います。これはどれだけたくさんボールに触れたかによって差が出る部分です。水曜日、金曜日、日曜日の練習に参加するだけでなく、それ以外の日も、毎日ボールに触れることで確実に向上します。

次に「心」です。サッカーは一人では絶対にできません。そこで「一緒にサッカーをする仲間そして相手のチームの選手、更には審判や会場を用意してくれた大人たちを尊重する気持ち」を持っていることが最大のポイントになります。また、サッカーはボールを介した格闘技とも言われていますので「戦う気持ち」も大切になります。粗野で乱暴なプレーを勧めているものではありません。ルールを守りながら、勝利を目指して最大限のパフォーマンスを発揮する気持ちがなければなりません。自分勝手、無責任では困ります。

三番目は「頭」です。学校の成績とはあまり関係はないかもしれませんが、基本的には「自分で考え、判断して、行動に移す」ということです。常に指導者の顔色を窺がい、指

示を待ってからでないとプレーができないのではサッカーになりません。選手諸君には、グラウンドの中で、100%の自由が保障されています。何をしても自由ですが、試合に勝つためにすべきことを考え、判断し、そして責任を持ってプレーをして欲しいものです。また、そろそろ「チームの中での自分の役割、ポジションの理解、パスの意識など」が芽生え始めてくる時期です。お互いに要求したり、されたりしながら、チームとしての戦い方が考えられるようになるのです。

最後は「体」です。勿論これは、体格(体の大きさ)ではなく、試合の中で、常に自己の最大限のパフォーマンスが発揮できる健康な体のことになります。生活面において、間食をせずにきちんと三食の食事をとり、睡眠も十分にとることが不可欠です。

【同じかながわクラブの一員】

さて、以上のような観点から分けたチームですが、これは固定的なものではありません。そして、子どもたちの人間性を評価するものでもありません。今回の秋の公式戦に関してのみの、そして現段階においての、便宜的なチーム分けにしすぎません。ですから、今回のチーム分けを見て、自分は他人より上手なんだと過信して天狗になってもらっては困りますし、逆に自分は皆より下手で、もうサッカーをする価値がないなどと悲観する必要も全くありません。前述の「技・心・頭・体」という4つの要素において、各自が努力を継続することで、まだまだ向上する余地は十分にあります。大切なのは与えられた環境において、驕ることなく、卑屈にならず、常に自己の最大限のパフォーマンスを発揮することなのです。

私はみんなの可能性を信じています。みんなも自分の可能性を信じて努力を怠らないで欲しいと思います。

そして何よりも忘れて欲しくないことは、チームは分かれても同じかながわクラブの一員であるということです。春と同様、クラブ員全員に公式戦においてできるだけ多くボールに触れさせたいということで、8人制に2チームでエントリーします。必然的にチーム分けせざるを得ない状況です。「みんなが仲よし」ということも非常に大切なことですが、4年生ぐらいになると、そろそろ「競争の厳し

さ」をちょっぴり味わうことも必要かとも思いますが、そういう意味でのチーム分けですので、指導の上でも、決してお互いが敵対視したり、反目しあったりすることのないように配慮します。

春のときには、試合のないチームがもう一つのチームの応援に駆けつけたり、決勝トーナメントにもほぼ全員が顔を揃えて応援したりする光景を見て、とてもいいチームに育ってくれたと感じました。秋の公式戦においても、是非そういった感動を周囲で応援してくれている人たちに与えられるような言動を期待しています。

最後に二点のお願いになります。一つは有資格者のお父様方には春の公式戦同様に審判をお願いすることになると思います。二つ目はチーム分けについての趣旨をご理解いただくとともに、やはり子どもたちだけでなく、親御さんにも同じかながわクラブの一員であることの意識を強く持っていただきたいということです。

こんな些細(?)なことでチーム内に不協和音が響くようでは困ります。何かありましたら早めにご連絡をいただければと思います。お父様方もお母様方も普段から密にコミュニケーションをとり、なかなか風通しの良い学年ですので、杞憂であれば幸いです。よろしくお願い致します。(佐藤 敏明)

小 3

【今取り組んでいること】

暦の上では秋だというのに、まだまだ暑い日が続いております。引き続きクラブの活動に参加される際は多目の飲み物をご用意くださいようお願いいたします。さて、最近の子供たちはとってもおもしろいですよ。とにかくどんどん上手になっていくのが実感できます。ルールを設定せずにミニゲームを行ってみると、色々なアイデアを出そうとしているのがわかります。今後も個のレベルアップを目指して、少人数でのトレーニングを通じ全員のレベルアップにつながるような指導を心がけたいと思います。

【伝えたいこと】

グラウンドでは技術的なことはもちろんですが、とにかくまじめに一生懸命取り組むこ

との大切さを伝えていきます。6月くらいまでは、プレーの合間で仲間同士ふざけあうシーンが目につきましたが、最近は少しずつそのような場面が減ってきたように思います。サッカーというスポーツは、ボール扱いの大半を足で行なうため確実性が低くなり、ボールを長い時間保持することはプロのチームでさえ容易なことではありません。ミスが多発するので結果として攻守が目まぐるしく入れ替わり、常に体と頭を動かし続けなければなりません。つまり、インプレーのときはもちろんですが、アウトオブプレーの際も次の展開を予測してポジションをとるなど、一瞬たりとも気を抜くことができないのです。(サッカーは生真面目な人がするスポーツなのでは?!)

一生懸命プレーするからこそ、勝ったらうれしいし負けたら悔しいのではないのでしょうか。若者の間では頑張ることはかっこ悪いという風潮があるようですが、それは大きな誤りです。頑張らないことがかっこ悪いのです。子供たちには、周りを気にせず何事にも100%で取り組んでもらいたい、そうあってほしいと願っています。(鈴木 章弘)

小 2

残暑お見舞い申し上げます。

8月ももう終わりだということにも関わらず、毎日毎日暑い日々が続いていますね。毎晩寝苦しくてしかたありません。

10月に入ると初めての公式戦、国際チビッツが始まります。私自身も初めての経験ですし不安もありますがとても楽しみです。子供たちにはがむしゃらになってボールを追いかけしてほしいです。

国際チビッツには1年生も含めて2チームで参加いたします。2年生単独で1チーム参加も考えましたが、子供たちには少しでも長い時間ピッチの上でプレーさせてあげたいです。一つでも多く色々な経験をさせてあげたいと思っています。

また、単独で2チームも考えましたが、人数的に1人でも休まれてしまうと厳しいものがありましたので1年生も含めた、2チームで参加させていただきます。試合を行なうにあたってまずはルール等を知らなくてはなりません。試合前後のあいさつやスローインの仕方など色々あります。練習中からしっかり教

えているのですが、いざ試合になると子供たちはわかっているようでわかっていなかったり…。ちょっと難しい話しをするとすぐ飽きられてしまったりと少々不安です。自分自身も難しい話しをされると頭が痛くなるので、子供たちの気持ちはとても分かるのですが、そこはなんとか頑張ってもらいたい少しでも理解してもらえれば嬉しいです。ですが子供たちは練習中から一生懸命ボールを追いかけ、良い顔しながら頑張っています。それがなにより嬉しかったです！残りの約1ヶ月間試合に向けてしっかりと準備していきたいと思っております。試合が始まると、保護者の皆様には色々とお手伝い等々でご迷惑お掛けすることもございますが、ご理解の程よろしくお願ひいたします。(鞍川 潤一)

幼児・小 1

春先に痛めた膝がなかなか良くならず、リハビリセンター通いに結構な時間を費やしています。一ヶ所悪くなるというのと波及するようで、最近では膝以外にも数件の病院通いが続いています。。

そのリハビリセンターには様々な人が来ています。怪我の種類や程度も様々ですが、少し気になることが、それは、小学生くらいの子の姿が目につくことです。(先入観もあるのですが)私のイメージには年配の方、私位の年齢およびスポーツ選手の姿しかありませんでしたので「そこに小学生がいる」ことに少しだけ違和感がありました。

スポーツをする以上怪我は付き物です。少年サッカーに関わっている身としてこういう現実もある程度の理解はあったつもりですが、それでもその痛々しい姿をみると「こうなる前に何とかしてあげられなかったか」と勝手に思ったりしています。もちろん、子供は少々のことでは好きなことを止めませんし、親としてもできる限りやらせてあげたい気持ちもわかります。しかし、将来のことを考えると無理にでも休ませることも必要です。正直、泣かれるとつらいですが(苦笑)。。

もし怪我や病気になってしまった場合には、決して無理をさせず「今の我慢が将来、また楽しくがんばれる」ことに繋がることをご家庭でも話していただきたいと思ひます。また、気になることなどあればいつでも担当コーチ

にご相談ください。(小野 津春)

【運動による体調不良】

先日、スペイン代表の選手(22歳)が試合中の心臓発作で倒れ、そのまま亡くなったという記事を読みました。だいが前ですが、インターコンチネンタル杯でも同じように亡くなったことを記憶しています。(たしかカメルーンの選手だったかな)

高校野球などでも、運動中の心臓発作で亡くなるというニュースは良く聞いたりします。どれだけ厳しい運動をすると、こうなるのかという、基準がなく、判断が難しいのだと思ひます。現在クラブで行っている練習でこのようなケースがおこることはないと思ひたいところですが、実際はわからない訳です。

このような状況下、やはり思ひるのは、体調が優れない場合は、練習を休む、気分が悪い時などは、なんでもコーチに伝えて欲しいということです。

習い事を休む、見学するというのが、なんだか非常に悪いこととされているような気がしますが、まずは安全第一で、楽しい活動が出来ることをのぞみます。

あくまで参考ですが、HPでみたところ、風邪薬に含まれるエフェドリンという成分などは、血管を拡げる効果があり、服用後に運動すると心臓発作に繋がる危険もあるようです。(摂取量によるようですが。)

練習前に薬を摂取した場合も、練習への参加を見合わせるなどの対応も必要かと考えますので、保護者の方々にも十分注意して頂ければ助かります。

そういえば、最近の自分でサッカーしたりすると、心臓にズキーン！と来る時ありますね。運動不足にお酒に喫煙に寝不足にストレス(これは大した事ないか)...

自分も気をつけなければ。(川島 浩司)

Papas

【Papas メーリングリスト】

ご存じの通り、Papasでは、メーリングリストが重要な連絡手段になっています。そこでこれまで何回かお願いとお知らせをしてまいりましたが、新しい方も増えましたので、改めて掲載します。

アドレスの変更や登録は？

テストメールの結果から、新しく登録したいアドレスがあれば、幾つでも結構ですので、お申し出ください。携帯・職場・自宅の三つを登録してある方が多いようですが、ご家族のアドレスも併せて登録されている方もおられます。確実に情報が届くようこの際アドレスの追加登録もご検討してみませんか。

登録・変更の依頼先は？

Papas-owner@yahoo.co.jpに送ってください。

なお、アドレス変更の場合には、必ず削除するアドレスも合わせて送ってください。

出欠確認の時は回答だけにして！

Papas では、試合の前には出欠確認をメールで行っております。その回答の際には、返信ボタンで返信し(携帯では「引用返信」で)、回答に不用な文字を全部削除してください。この方法ですと携帯からでも全文を入力しないで返信文が作成できます。集計するに際しても必要な文字だけのメールなので大変読みやすいのです。ご協力を。

届かないときがあるのですが...

インターネットメールにはどうしても不確実性が伴います。不達の原因の多くは、通信の混雑だと思ますが、出来るだけ確実に受け取るためには、ご自分の携帯電話だけではなく、自宅や職場、ご家族の携帯を登録することをお奨めします。また、配信エラーが生じると自動的に配信停止となりますが、その場合は、Yahoo! から配信停止を解除することを促すメールが届きますので、その指示に従って、ご自身で配信停止を解除してください。配信停止を解除できるのはご自身だけです。よろしくお願いします。

気象庁の長期予報にかかわらず、大変暑い夏となってしまいました。猛暑という言葉がぴったりの夏です。どうもこの分で行くともうしばらく暑さが続きそうです。どうぞご自愛をされますように。(茅野 英一)

Mistral

こんにちはミストラルの小林です。

先日、久しぶりに旭スポーツセンターの個人フットサルに行きまして来ました。スタッフとしてですが。。

参加人数は全部で25名。そのうち女性が3名でした。1時間半ゲームを続けました。

皆さん体力ありますね。誰もバテませんでした。

夏のあつ～い体育館です。

仕事帰りの方もいらっしゃいます。翌日は皆さんお仕事は？？

そんなにフットサル楽しいですか？ 疲れた方・・・代わりますよ！！

負けず嫌い？最後まで誰も抜けないのですね。一人位バテたって何も不思議じゃありませんよ。無理しないで下さいね！！ 疲れてたら誰か代わって！！ そんな心の叫びも空しくあつという間に時間は過ぎていきました。。

次回はスタッフではなく負けず嫌いのサッカー小僧で行くぞっ！！(小林 美奈)

ヨーガ

毎日暑いですね。

もっと暑いインドから帰った私は、日本の暑さなんてへっちゃら！と思っていました。実際に夏の初めは全然平気でした。が、しかし、熟睡したいという家族につきあって、夜に冷房をかけて寝ようになったとたん身体が日本モードに・・・。人並に暑さを感じるようになってしまいました。あ～あ。ま、こんなものですよ。

いっそ「夏は夏らしく暑いほうがいい！」と割り切って暑さも楽しんでしまおう、とばかり週末になると日本代表応援勝樽(当たったのです、なんと)についていたサーバーでおうちに居ながらにして生ビールを飲める幸せに浸る私です。

今期のヨーガクラスが始まります。水曜クラスは9月26日から、金曜クラスは9月21日からのスタートとなります。また、皆様にお会いできますね。どんな夏休みでしたか？夏の楽しいエピソードを皆様からお聞きしたいです。(伊藤 玲子)

理事長の戯言

【U-17 ワールドカップ】

8/18(土)～22(水)、韓国で開催中のU-17ワールドカップを視察に行きまして来ました。羽田から飛行機で90分強。ソウルはとて身近いところでした。

